

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	老人健康診査事業		コード	02-02-02-01	担当課係	保健課健康係
事業実施期間	S58年～		担当者	塩見 由佳		
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり				
	中項目	健やかで生き生きしたまちづくり				
	小項目	成人保健(歯科保健を含む)				
	施策	各種成人健康診査				

事業について	
目的	壮年期からの健康づくりと生活習慣病の予防、早期発見
対象(誰のために)	40歳以上の市民
内容	基本健康診査、肝炎ウイルス検診、骨粗鬆症検診、健康手帳の交付

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
基本健康診査受診者	6,255 人		
肝炎ウイルス検診受診者	516 人		
骨粗鬆症検診受診者	260 人		
健康手帳交付者	11,715 人		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	62,246	国県補助金等	35,716	直接事業費		国県補助金等	
	人件費	8,683	受益者負担	369	人件費		受益者負担	
	合計	70,929	市債	34,844	合計	0	市債	0

必要人員	1.38 人		
結果指標名	基本健康診査・肝炎・骨粗鬆症受診者数		
結果指標量	7,031		
単位	人		
対前年比	—	0.00%	
事業費	70,929,000 円		
単位当たりコスト①	10,088 円		

結果指標名			
結果指標量			
単位			
対前年比	—		
事業費		円	円
単位当たりコスト②		円	円

事業の成果			
成果指標名	基本健康診査受診者のうち40～64歳の受診率	式又は説明	循環器疾患の予防のためには、より年代の若い壮年期からの生活習慣の改善による健康づくりが重要と考える。(式: 40～64歳の受診者数 ÷ 40～64歳の対象者数 × 100)
成果指標量	17年度 51.8%		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	55%	到達目標年度	平成19年度

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 【関係法令等: 老人保健法】
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価		
コメント	壮年期からの健康づくりと生活習慣病予防、疾病の早期発見には健康診査をはじめ健康手帳の活用などにより、市民が自主的に生活習慣の改善を行うことができるよう支援することが重要と考える。今後は、より若い年代の健診受診者増を図るとともに、健診結果を有効に活用した各種事業を行っていく必要がある。	評価区分 <A~E> <b>B</b>

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度 結果指標量①	7,100	結果指標量②	
目標値	成果指標量	53.5%	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	より若い年代への受診勧奨をはかるために、事前に愛育委員への研修会を実施し、地区住民への周知活動に活かすとともに、広報等で健診PRを行う。さらに、愛育委員の世帯調査による受診希望者の把握という方法を、今後、広く市民へ健診受診を働きかける方法へと見直すなかで、若い年代への声かけにも力を入れていく必要がある。	翌年から実施	より若い年代の受診率を上げることにより、その結果を受けて生活習慣を見直して疾病の発生・進行を防ぐことができる。